

福井市林業・水産業プラン【概要版】

1 計画期間

林業及び水産業 平成 28 年度から平成 32 年度の 5 年間

2 基本方針

林業

「伐って使って守る森づくりの推進」

林業については、「伐って使って守る森づくりの推進」を基本方針とし、人工林の間伐促進を中心に伐った木材の有効活用の促進や林業の担い手の育成等の施策に取り組んでいく。

水産業

「持続可能な水産業の推進」

水産業については、「持続可能な水産業の推進」を基本方針とし、つくり育てる漁業を中心に水産物の販売強化や漁業経営の基盤整備等の施策に取り組んでいく。

3 基本目標

	政策	指標	実績 (H26)	目標値 (H32)
林業	1.伐る森林整備の促進	間伐面積 (除伐面積含む)	385ha	累計 2,000ha
	2.森林資源の利活用の拡大	公共工事における 木材使用量	202m ³	累計 1,250m ³
	3.守る森林・林業の展開	イベント*1 参加者数	2,182 人	累計 12,000 人
水産業	1.つくり育てる漁業の推進	目標放流数*2を満たす 有用魚種数	2 種	累計 10 種
	2.水産物の販売強化	魚食普及イベント 開催数	3 回	累計 20 回
	3.継続的な漁業経営の推進	新規就業者*3数	0 人	累計 5 人

*1 イベント：森林や林業の裾野の拡大につながる県や市が携わるイベント。

*2 目標放流数：ヒラメ 50,000 尾、アワビ 27,000 個、マダイ 10,000 尾。

*3 新規就業者：個人経営及び共同経営により漁業に従事する 45 歳未満の者。

プラン実施のための取組－林業－

基本方針	政策	方向性	施策	取組
伐って使って守る森づくりの推進	1. 伐る森林整備の促進	①人工林の間伐実施	(1) 森林整備の促進 (2) 生産性の向上	森林所有者に働きかけて集約化施策を促進 (1) GPSを活用して実施する境界確認を支援 山ぎわでの除間伐を促進 二酸化炭素吸収能力を活かすため、間伐を促進 高性能林業機械の導入や林内路網の整備を促進 (2) 作業道の維持管理に関する経費の軽減 林業労働者の技能の向上
		②多面的機能の持続的発揮	(1) 里山林の保全 (2) 山づくりの多様化	(1) 人手が入らなくなった里山林の維持管理を促進 森林の立地条件に応じた長伐期化・針広混交林化 (2) 伐採跡地の再造林化の徹底 植林樹種の多様化
		③病虫害や獣害の防止	(1) 病虫害対策の実施 (2) 獣害対策の実施	(1) 松林を保全する防除事業の実施 ナラ枯れ等の被害対策の取組を検討 (2) 樹木を保護するネット巻き等の対策を促進 森林組合等によるシカの捕獲の促進
	2. 森林資源の利活用の拡大	①人工林資源の利用	(1) 木材の搬出促進 (2) 公共事業等での利用促進	間伐材を材質や形状に合わせて用途区分し、集成材工場等への搬出を促進 (1) 自伐林家等による山の市場への木材の持ち込みを推奨 持続的な資源利用に向けた植林を推奨 公共事業に使用する木材の積極的利用拡大 (2) 木と触れ合える環境整備や木育を推進することによる民間における木材利用の促進 建築者などの需要者側が望む材を供給できるよう検討
		②里山林資源の再活用	(1) 資源の有効活用の促進	薪やペレットストーブの普及 (1) ほだ木や炭の原木の搬出を促進 特用林産物の生産の維持
	3. 守る森林・林業の展開	①新たな担い手の確保	(1) 林業に携わる人の育成	新規就労者確保に向けた就労相談会の開催等の広報 (1) 研修の受講を促進することによる新たな人材の育成や技能の向上 自伐林家の育成
		②山村地域の活性化	(1) 裾野の拡大 (2) 里山活動の継続化	森林の多面的機能の重要性等についての普及啓発活動の実施 森林公園等の施設の広報及び活用の実施 (1) 森林や林業への興味につながるイベントの開催 森林体験やグリーンツーリズムの情報を提供 市有林を活用した気軽に森林に親しめる場の整備 (2) 里山整備や体験活動の継続の促進

プラン実施のための取組－水産業－

基本方針	政策	方向性	施策	取組
持続可能な水産業の推進	1. つくり育てる漁業の推進	①栽培漁業の促進	(1) 中間育成事業の支援 (2) 放流事業の支援	(1) 中間育成手法の調査研究 中間育成施設の未利用期間の利活用を検討 (2) ヒラメ・マダイ・アワビ等の放流支援 新たな放流魚種と放流手法の研究
		②漁場環境の改善	(1) 漁場の整備 (2) 海岸・河川の保全	(1) 海底耕耘の促進 藻場の造成 (2) 海岸や河川の清掃活動の支援 海岸漂着物の処理
	2. 水産物の販売強化	①ブランドの構築	(1) 水産物の高付加価値化 (2) 水産加工品の販売促進 (3) 養殖の促進	高鮮度出荷の促進 (1) アカガレイのブランド化 地元水産物を活用した加工品づくりの促進 (2) 加工に取り組む漁業者グループへの支援 “ふくい「一押し」の逸品” や “「ふくいの恵み」認定事業” への展開推進 (3) トラウトサーモン、バフンウニ養殖の支援
		②魚食の推進	(1) 魚食普及 (2) 市場との連携強化	(1) ホームページ等を活用したイベントや調理方法等の情報発信 (2) 地産池消の促進 魚食普及イベントや料理教室等への支援
	3. 継続的な漁業経営の推進	①水産基盤の整備	(1) 漁港施設等の整備	(1) 防波堤、船揚場等の整備や補修の実施
		②漁家所得の向上	(1) 漁獲量の増大 (2) 漁家民宿への誘客 (3) 漁業コストの縮減	(1) 効率的で生産性の高い漁業技術の研究 (2) 漁業者が経営する民宿や旅館への誘客を支援 (3) 省エネ機器への転換や燃費向上の取組を促進 漁業共済制度への加入促進
		③新規就業者の確保	(1) 担い手の育成	(1) 「ふくい水産カレッジ」の漁業研修生受入れの支援 新規就業者の定住促進
		④漁村地域の活性化	(1) 都市住民の受入れ支援	(1) 漁業体験や海釣り教室等の情報提供 漁港施設を活用した都市住民との交流促進